

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	下水道再生計画の推進と都市型水害対策の整備【下水道施設の長寿命化等の推進及び災害に強い下水道の整備】	個別事業掲載No	都 — 1
-----	--	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 長寿命化及び地震対策事業を統合した「下水道再生計画」に基づき、下水道施設の改築及び耐震化を行い、安全安心な生活環境の確保に努める。また、集中豪雨による都市型水害に対応するため、中仙川改修事業等の中原地区の浸水対策を進めるとともに、水害が発生している地域の雨水管整備工事等を実施する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化事業（東部水再生センター・井の頭ポンプ場の工事、管更生工事L=約60m、管路詳細調査L=約2.8km） ・地震対策事業（東部水再生センター耐震補強設計等及び工事、牟礼及び新川中原コミュニティセンター周辺の下水道施設耐震化工事） ・都市型水害対策事業（中仙川改修事業の実施、入間川上流域の水害対策工事等の実施、雨水管整備工事L=約80m） 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		下水道施設の長寿命化事業												
		下水道施設の地震対策事業												
	都市型水害対策事業													
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化事業として下水道施設の改築 ・地震対策事業として下水道施設の耐震化 ・集中豪雨による都市型水害対策の推進 													

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>下水道施設の長寿命化及び地震対策事業については、一部の工事や委託において、入札の不調があったため、契約に向けて取り組んでいる。</p> <p>都市型水害対策事業の中仙川改修事業については、工法を変更し、工事が順調に進捗している。また、入間川上流域の水害対策工事の実施については、工事の実施に向けて、調布市・国・都との協議を進めている。</p>											
	事業評価審査会特記意見		政策会議 評価・意見等	重点事業とする。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>長寿命化事業として、東部水再生センター・井の頭ポンプ場の工事、管路施設の工事及び管路詳細調査を実施した。また、地震対策事業として、牟礼及び新川中原コミュニティセンター周辺の耐震化工事を実施し、東部水再生センターでは、管理棟耐震補強工事の入札不調により、事業期間を平成29年度～平成30年度の2箇年に変更して実施し、調整池・バイパスルート耐震補強工事の実施設計は、調整池耐震診断結果から平成30年度以降に今後の対策を検討することとした。</p> <p>都市型水害対策事業については、入間川上流域の水害対策工事等を実施するとともに、中仙川改修事業が平成31年度の完成に向けて進捗した。さらに、家屋等への浸水被害軽減を目的に、止水板を設置する市民への助成制度の創設に向けた準備を行った。</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		下水道施設の長寿命化事業												
		下水道施設の地震対策事業												
		都市型水害対策事業												
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・更新工事等の実施による下水道施設の改築の推進 ・耐震化工事等の実施による震災時の下水道施設の確保 ・水害対策工事等の実施による水害対策の推進 												
事業の総括（主管課）	<p>「下水道再生計画」に基づき、長寿命化及び地震対策事業について、一部入札の不調等もあったが、管路工事、管路詳細調査、牟礼コミュニティセンター等の下水道施設耐震化工事を実施した。また、都市型水害対策事業については、新たに止水板を設置する市民への助成制度の創設に向けた準備など、計画どおり進捗した。</p>													
事業評価審査会評価・意見等		予算執行		29年度当初		29年度実績								
			予算額	643,009千円		643,009千円								
			決算額			396,822千円								
			執行率（%）			61.7%								
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		三鷹駅南口ペデストリアンデッキの改修に向けた取り組み										個別事業 掲載No	都 — 2											
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹駅南口ペデストリアンデッキは、平成27年度の点検の結果、構造的に緊急な修繕が必要な箇所は見つかりませんでした。供用開始から20年以上が経過しており、降雨時に冠水など不具合の発生が年々増加しています。予防保全の観点からは一定の措置が必要なことから、修繕については、安全性、利便性及び経済性を考慮しながら計画的かつ段階的な取り組みを行います。また、設備についても、平成5年に設置したエレベーター1基とエスカレーター3基及び監視システムについては更新の時期を迎えています。そこで平成29年度は雨によるデッキの水漏れ対策として、タイル舗装の防水シール工事と、エレベーター1基及びエスカレーター2基のリニューアル工事を行います。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイル舗装の防水シール工事 ・エレベーター1基、エスカレーター2基のリニューアル工事 																						
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
	事業の成果 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイル舗装の防水シール工事 ・エレベーター1基、エスカレーター2基のリニューアル工事 																						
中間評価	上半期の実績・課題等	タイル舗装の防水シール工事、契約済み エレベーター1基、エスカレーター2基のリニューアル工事、契約済み ペデストリアンデッキの修繕方法について、景観に配慮しつつ化粧パネルを撤去する方針が決定した。今後は工期の算定と工事範囲の確認を行い個別修繕計画の作成を目指す。																						
	事業評価 審査会 特記意見											政策会議 評価・意見等	重点事業とする。											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																			
事後評価	実績	タイル舗装の防水シール工事 エレベーター1基、エスカレーター2基のリニューアル工事																						
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
	事業の成果 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイル舗装の防水シール工事 ・エレベーター1基、エスカレーター2基のリニューアル工事 																						
	事業の総括 (主管課)	タイル舗装の防水シール工事及びエレベーター1基、エスカレーター2基のリニューアル工事が完了した。デッキの長寿命化に向けた取り組みとして計画的かつ段階的に修繕を行うため長寿命化計画(案)の検討を行った。平成30年度は、1期工事で完成したデッキ部分に設置されている化粧パネルの撤去工事の設計及びエスカレーター1基のリニューアル工事と監視システムの更新工事を予定している。																						
	事業評価 審査会 評価・意見等											予算執行	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度当初</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>152,345千円</td> <td>152,345千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>128,425千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td>84.3%</td> </tr> </tbody> </table>		29年度当初	29年度実績	予算額	152,345千円	152,345千円	決算額		128,425千円	執行率(%)	
	29年度当初	29年度実績																						
予算額	152,345千円	152,345千円																						
決算額		128,425千円																						
執行率(%)		84.3%																						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)																				

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	駐輪場整備運営基本方針（仮称）の策定及び推進	個別事業 掲載No	都 — 3
-----	------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>市内の各駅周辺の環境が変化してきていることなどから、「駐輪場整備基本方針（平成23年7月策定）」を改定し、新たに駐輪場の中長期に亘る整備・運営の方向性を定める「駐輪場整備運営基本方針（仮称）」を策定、推進していく。</p> <p>また、既存の駐輪場をより効率的に活用する等の効果が期待できるサイクルシェア事業については、事業化に向けた社会実験を引き続き実施し、事業化に向けた検討を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化協議会の開催（3回程度） ・庁内プロジェクトチームにおける検討（4回程度） ・サイクルシェアの事業化に向けた社会実験及びアンケート調査の実施 ・パブリックコメントの実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

駐輪場整備運営基本方針（仮称）の策定に向けた作業	→	○	→
サイクルシェア事業社会実験アンケート調査及び事業化に向けた分析・検証	○パブコメ	→	→
○協議会 ○協議会	○協議会	○プロジェクト	○プロジェクト

事業の成果（目標）	・駐輪場整備運営基本方針（仮称）の策定及び推進 ・サイクルシェア事業社会実験の実施と検証及び事業化に向けた運用方法の決定
-----------	---

中間評価	上半期の実績・課題等	駐輪場整備運営基本方針（仮称）の策定に向けて、6月の地域公共交通活性化協議会で「考え方」について協議を行った。今後も引き続き、同協議会での協議を続けるとともに、パブリックコメントを実施するなど、策定に向けた取組みを進める。サイクルシェア事業については、プロジェクトチームの打合せを6月、8月に開催し、実験参加者に対するアンケート調査を実施した。また、事業化に向けた分析も開始した。今後、アンケート調査の結果の検証を行うとともに、事業化に向けた詳細な検証を行う。											
	事業評価審査会 特記意見	サイクルシェアの事業化にあたっては、条例上の位置付けや手数料のあり方について総合的に検討を進めること。	政策会議 評価・意見等	重点事業とする。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	「駐輪場整備運営基本方針」の考え方・素案・案について、それぞれ6月・11月・2月に地域公共交通活性化協議会で報告を行うとともに、1月にパブリックコメントを実施し、3月に策定した。サイクルシェア事業については、プロジェクトチーム会議を6月・8月・12月・3月に行うとともにアンケート調査を8月に実施し、本格実施に向けた分析を行った。											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	駐輪場整備運営基本方針（仮称）の策定に向けた作業	→	○	→									
	サイクルシェア事業社会実験アンケート調査及び事業化に向けた分析・検証	○協議会	○協議会	○プロジェクト	○プロジェクト	○プロジェクト	○プロジェクト						
事業の成果（実績）	駐輪場整備運営基本方針については、地域公共交通活性化協議会での報告やパブリックコメントの実施を経て、3月に策定した。サイクルシェア事業社会実験については、利用者枠の呼称変更や、利用対象者・人数の拡充を行い、8月から「自宅から利用枠（旧市民枠）」90人、「駅から利用枠（旧学生枠）」90人の計180人を定員とし、シェアの仕組みがうまく成り立つことを確認した。また、アンケート調査や利用実態の分析を行った。												
事業の総括（主管課）	駐輪場整備運営基本方針については、三鷹市地域公共交通活性化協議会（3回）や議会、平成30年1月に実施したパブリックコメント等での意見を反映し、同3月に策定した。今後は方針に基づき、駐輪場の再配置や利用料金の適正化等の具体的な施策を検討する。サイクルシェア事業については、4回の庁内プロジェクト・チーム会議を開催するとともに、利用者枠を170名から180名に拡充し、アンケート調査や利用実態の分析を行った。今後は分析結果を参考に本格実施に向けた準備を進めていく。												
事業評価審査会 評価・意見等	自転車の安全利用や利便性の向上等、総合的な推進となるよう、駐輪場の配置や利用料金について検討することが望ましい。	予算執行	29年度当初		29年度実績								
		予算額	6,617千円		6,659千円								
		決算額			5,773千円								
		執行率（%）			86.7%								
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上	1 計画どおり	2 計画の7割未満	3 その他（取組方針の変更等）						

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		「公園・緑地の適切な活用に向けた指針（仮称）」の策定										個別事業 掲載No	都 — 4
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 市内の公園・緑地の持つ機能や地域特性を把握したうえで、公園等の在り方や機能、配置等の再編について取り組む必要がある。そこで、地域の特色やニーズに適合する公園・緑地となる機能再編を進めるため、機能や配置等についての調査・検討を行い、市民に親しまれ、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを目指し、整備と管理等の基本的な考え方等を示した指針の策定を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園、緑地の現状把握及び地域特性の整理 公園ボランティア等からの意見収集 課題の抽出、整理、分析 推進チームによる検討（4回程度） 指針策定に向けた検討及び策定 ほか 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>推進チームによる検討及び指針（案）の作成 →</p> <p>現状把握及び地域特性の整理 → 課題の抽出、整理、分析</p> <p>パブリックコメント →</p>												
事業の成果（目標）	<p>「公園・緑地の適切な活用に向けた指針（仮称）」の策定に向けた取り組み。</p>												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>庁内推進チームにより現地確認及びワークショップ等を行うとともに、指針策定に関する市民意見を収集するため公園ボランティア等へアンケート調査を実施した。引き続き、公園利用者等へのアンケート調査等を進め、地域特性の課題等の抽出を行う。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p> <p>推進事業とする。</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	実績	<p>庁内推進チームにより現地確認及びワークショップ等を行うとともに、指針策定に関する市民意見を収集するため公園ボランティア等へアンケート調査を実施した。引き続き、公園利用者等へのアンケート調査等を進め、地域特性の課題等の抽出を行う。</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>推進チームによる検討及び指針（案）の作成 →</p> <p>現状把握及び地域特性の整理 → 課題の抽出、整理、分析</p> <p>パブリックコメント →</p>												
	事業の成果（実績）	<p>庁内推進チームを開催するとともに（平成29年度は5回）外部の専門家2名の意見聴取、アンケートの実施（回答数285件）、公園に対する要望や現状の整理、今後のあるべき姿を整理した。</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>庁内における推進チーム（5回開催）において、現地確認やワークショップ、市民アンケートを（回答数285件）を実施するとともに、専門家（2名）からの意見聴取等を経て、公園に対する要望や現状の整理、今後の公園の在り方や求められる機能などについて整理し、市民に親しまれ、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを目指すための基本的な考え方等を示した。</p>											
事業評価審査会評価・意見等							予算執行	29年度当初		29年度実績			
							予算額	150千円		150千円			
							決算額			90千円			
							執行率（%）			60.0%			
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 【まちづくり推進地区整備方針の策定に向けた取り組み】	個別事業 掲載No	都 — 5①
-----	--	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>三鷹市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間を創出するため、関係権利者や地元住民等の意見を聴きながら、「まちづくり推進地区整備方針」の策定に取り組む。三鷹台駅前通りについては、地域住民や関係権利者の意向を踏まえ、都市計画道路や駅前広場のあり方等について検討し、都市計画変更手続きに向けて取り組む。地域のまちづくり活動については、(株)まちづくり三鷹と連携し、三鷹台まちづくり協議会を支援する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備方針策定や都市計画変更等に向けた検討 三鷹台まちづくり協議会への支援 整備方針策定や都市計画変更等に向けた関係権利者、商店会、まちづくり協議会及び東京都等との協議 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	まちづくり推進地区整備方針策定及び都市計画変更等に向けた取り組み												
地域のまちづくり活動の活性化													
事業の成果(目標)	<ul style="list-style-type: none"> 「三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針」の策定 三鷹都市計画道路3・4・10号の都市計画変更等に向けた取り組みの推進 三鷹台まちづくり協議会の活動の活性化 												

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針の策定に向けて、関係権利者と駅前広場のあり方等について話し合いを行うとともに、用途地域の変更等の検討に取り組む。 地域のまちづくり活動について、(株)まちづくり三鷹と連携し、「神田川こいのぼり祭り」の活動等、三鷹台まちづくり協議会を支援している。 関係権利者と話し合いを重ね、駅前広場の位置について概ねの合意を得た。 整備方針の策定のため、まちづくり協議会との取り組みを進めている。 											
	事業評価審査会特記意見	重点事業とする。											
	政策会議評価・意見等												
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1											
1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする													

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり推進地区整備方針については策定までには至らなかったが、市民意見を聴きながら整備方針(素案)を策定し、説明会を開催するなどの取り組みを進めた。 こいのぼり祭り等、三鷹台まちづくり協議会の活動を支援し、地域のまちづくり活動の活性化を図った。 																																																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
	地権者協議	→																																																											
	商店会協議	○																																																											
	協議会支援	○	○							○	○																																																		
事業の成果(実績)	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針(素案)を策定し、住民説明会を開催し、意見募集を行った。 三鷹都市計画道路3・4・10号の都市計画変更等に向けた検討を行った。 (株)まちづくり三鷹と連携し、こいのぼり祭りの実施やポケットパークの花植え等、まちづくり協議会の活動を支援するなど三鷹台のまちづくりの活性化に向けた取り組みを行った。 																																																												
事業の総括(主管課)	三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針については策定には至らなかったが、整備方針(素案)を策定し、住民からの意見募集を行った。また、まちづくり協議会においても、整備方針(素案)の意見交換を行うなど、(株)まちづくり三鷹と連携し、協議会活動の支援を行った。平成30年度は、整備方針を策定し、都市計画変更の手続きや駅前広場整備に向けた取り組みを行っていく。																																																												
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td colspan="6">29年度当初</td> <td colspan="6">29年度実績</td> </tr> <tr> <td colspan="6">予算額</td> <td colspan="6">1,992千円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">決算額</td> <td colspan="6">2,239千円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">執行率(%)</td> <td colspan="6">76.6%</td> </tr> </table>												予算執行	29年度当初						29年度実績						予算額						1,992千円						決算額						2,239千円						執行率(%)						76.6%					
予算執行	29年度当初						29年度実績																																																						
	予算額						1,992千円																																																						
	決算額						2,239千円																																																						
執行率(%)						76.6%																																																							
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1																																																											
S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)																																																													

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 【市道第135号線の整備】										個別事業 掲載No	都 — 5②															
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成17年10月に策定した「市道第135号線緊急整備方針」に基づき、三鷹台駅前周辺地域（三鷹台交番～立教女学院区間、延長約232m）について、バリアフリーに配慮した歩行空間の整備を行うため、電線類の地中化等に向けた引込連系管整備事業をNTT及び東京電力へ委託します。架空線を地下に引込み、既存の電柱を抜柱します。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝整備工事（引込連系管工事等）197m（延べ394m） 																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果（目標）	電線共同溝整備事業 →																										
中間評価	上半期の実績・課題等	公益財団法人東京都道路整備保全公社と整備事業の委託に関する平成29年度協定を締結するとともに、引込連系管路工事を進めるために、東京電力パワーグリッド(株)及びNTTインフラネット(株)と協定を締結した。引き続き、引込連系管路工事の完了を目指す。																										
	事業評価審査会特記意見											政策会議 評価・意見等	重点事業とする。															
	主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする															
事後評価	実績	電線共同溝整備工事（引込連系管工事等）197m（延べ394m）																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果（実績）	補助金申請事務・発注準備 → 電線共同溝整備工事（引込連系管工事等） →																										
	事業の総括（主管課）	電線共同溝整備率（引込連系管等含む）100%																										
	事業評価審査会評価・意見等											<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th colspan="2">29年度当初</th> <th colspan="2">29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>127,491千円</td> <td>127,491千円</td> <td>127,491千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>84,561千円</td> <td>84,561千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td>66.3%</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table>	予算執行	29年度当初		29年度実績		予算額	127,491千円	127,491千円	127,491千円	決算額		84,561千円	84,561千円	執行率(%)		66.3%
予算執行	29年度当初		29年度実績																									
	予算額	127,491千円	127,491千円	127,491千円																								
	決算額		84,561千円	84,561千円																								
	執行率(%)		66.3%	66.3%																								
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	東京外かく環状道路整備に伴うまちづくりの推進	個別事業掲載No	都 — 6
-----	------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京外かく環状道路事業の進め方について、国と都がまとめた「対応の方針」が確実に実行されるよう国と都に要請していく。 平成28年度に開催した「北野の里（仮称）まちづくりワークショップ」でいただいたゾーニング案を広く市民意見を聴きながら確定し、北野の里（仮称）の具現化をめざし、「北野の里（仮称）まちづくり整備計画（仮称）」の策定に向けた取り組みを進める。 外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会（以下、「安全・安心のまちづくり連絡協議会」という。）を地元住民等との協働により運営し、地域の交通安全対策及び防犯対策を推進する。 都市農地保全に向けた実証実験の実施を継続する。 <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 助言者会議 3 回、庁内対策連絡会議 3 回、周辺都市計画道路の事業化に向けた調整、実証実験の実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 助言者会議の開催 庁内対策連絡会議の開催 北野の里（仮称）のまちづくり整備計画策定に向けた取り組み 都市農地保全に向けた実証実験の実施 周辺都市計画道路の整備及び事業化に向けた調整 安全・安心のまちづくり連絡協議会の運営 											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に国・都との協働により開催した北野の里（仮称）まちづくりワークショップにおいて市民より提案されたゾーニング案を市庁舎及び北野地区公会堂で説明し、ゾーニングを策定した。 都市農地の維持管理に向けた取り組みの運営を行った。 外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会（第1回）を平成29年4月25日に開催し、北野中央通りの代替え道路について話し合った。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央ジャンクション（仮称）蓋かけ上部空間等の整備及び管理主体の検討・協議 											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 重点事業とする。 評価・意見等</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ①北野の里（仮称）のゾーニング作成に向けた取り組み ②都市農地の保全に向けた実証実験の継続 ③外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会の運営 																																																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ①北野の里（仮称）ゾーニングの説明の場を開催し、庁内対策連絡会議を1回、助言者会議を2回開催 ②都市農地の保全に向けた取り組みとして、実証実験を継続 ③外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会を3回開催 																																																											
	事業の総括（主管課）	<p>平成28年度に開催した「北野の里（仮称）まちづくりワークショップ」で市民よりいただいたゾーニング案の説明の場を開催し、広く市民に説明した。さらに、庁内対策連絡会議、助言者会議で意見をいただき、北野の里（仮称）のゾーニングを策定した。また、都市農地の保全に向けた取り組みとして、実証実験を(株)三鷹ファームとともに行った。</p> <p>外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会を地元住民との協働により3回開催した。地域住民及び関係機関等とともに工事に伴う代替え道路等を確認し、安全対策・防犯対策を検討し、国等の事業者に対策を求めた。</p>																																																											
	事業評価審査会評価・意見等	<p>蓋掛け上部空間の整備等の主体や費用負担のあり方については、関係者間で協議、調整を進め明確にすることが望ましい。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td colspan="6">29年度当初</td> <td colspan="6">29年度実績</td> </tr> <tr> <td colspan="6">予算額</td> <td colspan="6">4,617千円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">決算額</td> <td colspan="6">3,932千円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">執行率(%)</td> <td colspan="6">85.2%</td> </tr> </table>												予算執行	29年度当初						29年度実績						予算額						4,617千円						決算額						3,932千円						執行率(%)						85.2%				
予算執行	29年度当初						29年度実績																																																						
	予算額						4,617千円																																																						
	決算額						3,932千円																																																						
	執行率(%)						85.2%																																																						

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進	個別事業掲載No	都 — 7
-----	----------------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 三鷹駅前地区再開発基本計画2022に基づいて、三鷹駅南口中央通り東地区の再開発事業が、市の玄関口のシンボルとして地区の活性化の拠点となるよう、商業施設や広場空間の配置、駐輪場・駐車場の確保等について関係権利者やUR都市機構と検討を進める。また、高度利用地区、市街地再開発事業、地区計画等を検討し、関係機関と協議・調整しつつ、都市計画決定に向けて関係権利者等と合意形成を図る。
	【事業量】 ・再開発協議会の勉強会への参加 ・事業スキームの構築（施設計画の検討、権利者合意形成） ・関係機関との協議・調整 ・都市計画決定に向けた取り組み（都市計画手続きの準備、素案の作成）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 再開発協議会への参加 事業スキームの構築 関係機関との協議・調整 都市計画決定への取り組み
	事業の成果（目標） ・高度利用地区、第一種市街地再開発事業、地区計画の都市計画決定に向けて取り組む。

中間評価	上半期の実績・課題等 ・再開発協議会の勉強会に地権者として参加し、関係権利者やUR都市機構と市街地再開発事業に向けて、商業施設の管理運営方法や施設計画の検討を進めている。 ・再開発事業をきっかけとして面的なまちづくりが展開されるよう、市街地再開発事業等の都市計画手続きに合わせて、地区計画の策定に向けて関係権利者との合意形成を図る必要がある。
	事業評価審査会特記意見 政策会議評価・意見等 重点事業とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・再開発協議会の勉強会に地権者として参加し、関係権利者やUR都市機構と商業施設の管理運営方法や施設計画の検討を進めた。 ・UR都市機構とともに関係機関との協議調整を行い、都市計画手続き着手に向けた取り組みを進めた。
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 再開発協議会への参加 事業スキームの構築 関係機関との協議・調整
	事業の成果（実績） 関係権利者やUR都市機構と施設計画等の検討を行うとともに、再開発事業をきっかけとして面的なまちづくりが展開されるよう、地区計画や再開発事業等の都市計画手続き着手に向けた取り組みを進めた。
	事業の総括（主管課） 「三鷹駅前地区再開発基本計画2022」に基づき、市街地再開発事業が地区の活性化の拠点となるよう、関係権利者やUR都市機構とともに施設計画等の検討を進めたが、関係機関との調整や関係権利者の合意形成に時間がかかり、都市計画決定に向けた具体的な取り組みには至らなかった。引き続き、関係機関との調整や関係権利者の合意形成を進め、都市計画決定に向けた取り組みを推進する。
	事業評価審査会評価・意見等 予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 2,325千円 2,053千円 決算額 0千円 執行率(%) 0.0%
主管課評価 2 事業評価審査会評価 2 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		空き家等の管理不適切な建築物に関する適正管理の推進										個別事業掲載No	都 — 8	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 総合的な空き家等対策を推進するため三鷹市空き家等対策協議会を設置し、空き家等対策計画案の検討、特定空き家等認定基準の策定、特定空き家等の認定などの審議を行う。また、全市域を対象とした空き家等実態調査を実施し原因等を整理して、空き家等のデータベース化を進める。引き続き庁内プロジェクト・チームによる多角的視点から検討する。</p> <p>【事業量】 三鷹市空き家等対策協議会を設置し、3回開催する。実態調査を実施し、空き家等のデータベース化を進める。</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		協議会の設置			○第1回			○第2回			○第3回		○第4回	
中間評価	上半期の実績・課題等	プロジェクト・チームを予定どおり開催し、平成29年度のスケジュールや三鷹市空き家等対策協議会の設置などについて検討を行った。さらに、協議会を開催し、特定空き家等認定基準の策定、三鷹市空き家等対策計画案の策定など、今後の検討課題の方向性について、意見交換を行った。												
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等											重点事業とする。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	実績	当初計画どおり、協議会を設置し、空き家等対策計画案の体系、特定空き家等認定基準について検討した。第3回の協議会において、三鷹市特定空き家等認定基準について市長から協議会に諮問し、答申を得て決定した。また、市内全域を対象とした空き家等に関する実態調査を実施し、771棟の空き家等を確認した。本調査結果と市が受け付けた苦情・相談内容を一元管理するデータベースを構築した。												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		協議会			設置条例の提案			○第1回			○第2回		○第3回	
		プロジェクト・チーム		○第1回			実態調査			○第2回		○第3回	第4回○	
事業の成果(実績)	スケジュールに若干遅延が見られたが、当初予定していた成果を得ることができた。													
事業の総括(主管課)	<p>庁内プロジェクト・チームにおいて、特定空き家等認定基準について調査検討を行い、平成29年第2回市議会定例会において可決成立した条例に基づき設置した空き家等対策協議会において、同認定基準について審議し、平成30年2月1日に決定した。また、同認定基準の適切な運用を図ることを目的として、関係各課と協力し、特定空き家等認定マニュアルを合わせて作成した。</p> <p>市内の空き家等の実態調査を実施し、771棟の空き家等を確認したほか、調査結果と苦情・相談内容を地図上で一元管理するデータベースを構築した。</p>													
事業評価審査会評価・意見等						予算執行	29年度当初			29年度実績				
							予算額			6,571千円				
							決算額			6,317千円				
							執行率(%)			96.0%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)									

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		下水道事業への地方公営企業法適用の推進										個別事業 掲載No	都	9		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成28年度に策定した「下水道事業地方公営企業法適用基本方針」に基づき、平成32年(2020年)4月からの地方公営企業法の適用に向けて、引き続き固定資産調査及び台帳整備を進めるとともに、公営企業会計システム導入の検討や関係部署との調整等の移行業務に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定資産調査及び台帳整備(平成28年度～平成30年度) 公営企業会計システム導入の検討や関係部署との調整等の移行業務(平成29年度～平成32年度(2020年度)) 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	固定資産調査及び台帳整備 → 移行業務 →		
	事業の成果(目標)	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産調査及び台帳整備の推進 公営企業会計システム導入の検討や関係部署との調整等の移行業務の実施 														
中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産調査・評価について、決算書及び工事関連情報の整理などを行った。今後、受贈資産・不明資産などの調査及び整理、固定資産管理図の作成に取り組む。 公営企業会計システム仕様書、機能要求項目一覧の案を作成した。今後、次年度の予算に向けた積算を行う。 庁内の関係部署に公営企業会計移行に当たっての検討事項などを説明し、費用負担、事務分掌、会計システムの機能など課題の整理を行った。 														
	事業評価審査会特記意見											政策会議 評価・意見等	推進事業とする。			
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする											
事後評価	実績	固定資産調査・評価について、工事情報、固定資産一覧等の整理を行い、固定資産管理図を作成した。また、公営企業会計システム仕様書、機能要求項目一覧を作成し、プロポーザルの準備を行うとともに、庁内の関係部署と公営企業会計移行に向けた調整を行い、会計事務処理の基本的な方向性を確認した。														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	固定資産調査及び台帳整備 → 移行業務 →		
	事業の成果(実績)	<ul style="list-style-type: none"> 工事情報、固定資産一覧等の整理を行い、固定資産管理図を作成 公営企業会計システム仕様書、機能要求項目一覧を作成 庁内の関係部署と公営企業会計移行に向けた調整 														
	事業の総括(主管課)	移行関連業務は、3年計画の2年目である固定資産の調査・評価が、予定通り進捗率約65%となった。また、庁内の関係部署との連携のもと、公営企業会計システム導入に向けた検討や、会計事務処理の検討など、基本的な準備関連事務を当初計画に沿って実施することができた。														
	事業評価審査会評価・意見等											予算執行	29年度当初	29年度実績		
											予算額	17,029千円	17,029千円			
											決算額		17,022千円			
											執行率(%)		100.0%			
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)												

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		花と緑のまちづくりの推進										個別事業 掲載No	都 — 10	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>緑と水の公園都市の実現に向けて、新川あおやぎ公園等の用地取得を進めるとともに、まちなかグリーンベルト創出事業ではモデル地区で緑化箇所を選定し、緑化工事の助成を行う。また、NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会が行うガーデニング講座など各種事業へ支援を行う。さらに、三鷹中央防災公園については、指定管理者と協働で適切な管理運営等に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花と緑のまち三鷹創造協会への支援（ガーデニング講座ほか各種講座、ガーデニングフェスタの開催） 用地取得：新川あおやぎ公園用地取得、丸池公園用地取得、大沢二丁目公園用地取得 公園等改修：むらさき児童公園整備、堀合児童公園施設改修ほか まちなかグリーンベルト創出事業における緑化箇所を選定及び緑化工事の助成 三鷹中央防災公園の適切な管理運営 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 緑と水の公園都市にふさわしい花と緑のまちづくりの推進（協会主催講座の実施、ガーデニングフェスタの実施、公園用地の取得、公園改修工事等の実施、新川宿ふれあい通りを中心としたまちなかグリーンベルト創出事業の取り組み） 三鷹中央防災公園の適切な管理運営 												
	事業の総括（主管課）	<p>花と緑のまち三鷹創造協会と連携しながら協働のまちづくり事業を進め、6月に「花のまち交流会」を開催した。借地公園の公有地化に向けた用地取得や公園改修工事等について引き続き取り組む。まちなかグリーンベルト創出事業は、モデル地区内の町会・まちづくり協議会と協働で緑化箇所を選定とデザイン検討を行った。モデル事業の最終年度であるため、今後の方向性について引き続き検討を行う。</p>												
中間評価	上半期の実績・課題等												政策会議 評価・意見等	重点事業とする。
	事業評価 審査会 特記意見													
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む			2 経常業務の一環として取り組む		3 見送ることとする			
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 花のまち交流会（平成29年6月17日、さんさん館多目的会議室、参加：134名）を実施・ガーデニングフェスタ2017（平成29年9月30日、三鷹中央防災公園、応募作品142点）を実施・新川あおやぎ公園、丸池公園及び大沢二丁目公園用地の三鷹市土地開発公社からの買戻し・むらさき児童公園整備、堀合児童公園及び北野こりす公園の施設等改修 まちなかグリーンベルト創出事業の実施（緑化工事の助成：2件） 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（実績）	各種取り組みにより、緑と水の公園都市にふさわしい花と緑のまちづくりの推進を図るとともに、三鷹中央防災公園の適切な管理運営を行った。												
	事業の総括（主管課）	<p>公園緑地（新川あおやぎ公園、丸池公園及び大沢二丁目公園用地）の公有地化により借地公園等が継続的に確保されるとともに、老朽化した公園施設のリニューアル（むらさき児童公園）や施設等改修（堀合児童公園、北野こりす公園）によって誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを推進した。</p> <p>また、NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会や市民との協働によるガーデニングフェスタを開催（平成29年9月30日：三鷹中央防災公園）するとともに、新川宿まちづくり協議会等との協働により、まちなかグリーンベルト創出事業（民有地内の緑化助成：2件）を行うなど、緑の保全や緑化を推進する意識啓発、地域コミュニティの創出や拡充を図った。</p>												
	事業評価 審査会 評価・意見等			予算執行			29年度当初		29年度実績					
							予算額		545,248千円					
							決算額		677,264千円					
							執行率（%）		98.2%					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上			1 計画どおり		2 計画の7割未満		3 その他（取組方針の変更等）	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		都市計画道路整備の促進【3・4・13号（牟礼）】										個別事業 掲載No	都 — 11①			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹都市計画道路3・4・13号（牟礼）は、連雀通り（都道134号）から人見街道（都道110号）までの区間であり、平成12年度に完了した人見街道から三鷹都市計画道路3・2・2号（東八道路）を南北に結び、周辺の生活道路に進入している通過交通を分散し、交通渋滞の緩和と安全性を高めることを目的としている。引き続き用地取得を進めるとともに、事業の進捗状況にあわせて延焼遮断や避難路の確保による防災震災対策、安全で快適な歩行空間の確保及び都市景観の向上等の目的のために、電線類地中化に向けた詳細設計や関係機関との協議を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得面積 171.51㎡ ・電線共同溝詳細設計 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		用地取得														
		関係機関等との協議及び電線共同溝詳細設計														
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率 87.9% ・電線共同溝詳細設計 														
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>昨年度に引き続き、3件（171.51㎡）の用地取得に向けて、物件調査の実施など地権者と交渉を行っている。1件（106.91㎡）については取得の見込みがたったが、残り2件については交渉中であり、適切な代替地の確保等が課題となっている。また、道路整備に向け、信号設置について交通管理者等と協議を行っている。今後は、本協議結果を受けて詳細設計を行っていく。</p>														
	事業評価審査会特記意見													政策会議 評価・意見等	重点事業とする。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする										
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得1件（106.91㎡） ・警視庁との道路線形協議完了 ・道路詳細設計のための路床土調査 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		用地取得														
		関係機関との協議及び路床土調査														
		事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得1件（取得率87.0%）（今回用地取得した土地の更地化は平成30年6月末を予定しているため、用地費及び物件補償費の一部が繰越となった。） ・警視庁との道路線形協議が完了した。 ・道路詳細設計に向けた路床土調査を行った。 													
	事業の総括（主管課）	<p>関係権利者と用地取得交渉を重ねてきたが、関係権利者の意向を踏まえた結果、引き渡しは次年度となるが1件（取得率87.0%）の用地を取得した。引き続き用地取得に向け、丁寧な交渉に取り組んでいく。また、用地取得の状況や警視庁協議が平成30年1月まで要したことなどから、電線共同溝詳細設計を次年度以降に延期することとなったが、道路詳細設計に向けた路床土調査を行い、整備に向けた準備を進めた。</p>														
	事業評価審査会評価・意見等													予算執行	29年度当初	29年度実績
														予算額	170,465千円	170,465千円
														決算額		41,800千円
														執行率（%）		24.5%
	主管課評価	2	事業評価審査会評価		2	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		都市計画道路整備の促進【3・4・7号（連雀通り）】										個別事業 掲載No		都 — 11②															
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹都市計画道路3・4・7号（連雀通り）は、平成21年4月に東京都と「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」の協定を結び、八幡前交差点～下連雀七丁目交差点間約235mについて事業に着手した。平成29年4月より「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」として、都市防災機能の向上、安全で快適な歩行空間の確保及び都市景観の向上等の目的のために、電線類の地中化に向けた修正設計等及び関係機関との協議を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化の修正設計等 																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	関係機関との協議及び電線類地中化の修正設計等															
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化の修正設計等 																											
	事業評価 審査会 特記意見																												
中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 次年度、街路事業及び既設構造物撤去工事に着手できるよう準備するとともに、東京都等の関係機関との協議を行っている。 昨年度、繰越となった用地の更地化が完了し、用地取得が完了した。 事業範囲内の市道内にある所有者不明用地について、相続人が判明したため、用地取得にむけて取り組んでいる。 ライフライン等企業者工事が円滑に進められるように工程調整を行っている。 																											
	事業評価 審査会 特記意見	重点事業とする。																											
	政策会議 評価・意見等																												
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																									
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 構造物撤去工事設計及び路床土調査を行うとともに、東京都等関係機関との調整を行った。 事業範囲内の市道内にある所有者不明用地について、相続人と用地取得にむけた取り組みを行い、5名の相続人のうち1人から道路の無償使用への同意が得られた。 																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	関係機関との協議及び構造物撤去工事設計・路床土調査															
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 構造物撤去工事設計を行った。 道路舗装厚を決定するための路床土調査を行った。 																											
	事業の総括（主管課）	<ul style="list-style-type: none"> 構造物撤去工事設計及び路床土調査を行うとともに、東京都等関係機関との調整を行った。 既設埋設管が想定外にボックスカルバートに近接していることが判明したため、関係機関等との調整の結果、修正設計やボックスカルバートの撤去工事時期について見直しを行い、事業工程が1～2年遅れることとなった。 																											
	事業評価 審査会 評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">予算 執行</th> <th colspan="2">29年度当初</th> <th colspan="2">29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>17,685千円</td> <td>17,685千円</td> <td>17,685千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>11,564千円</td> <td>11,564千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td></td> <td>65.4%</td> <td>65.4%</td> </tr> </tbody> </table>												予算 執行	29年度当初		29年度実績		予算額	17,685千円	17,685千円	17,685千円	決算額		11,564千円	11,564千円	執行率（%）		65.4%
予算 執行	29年度当初		29年度実績																										
	予算額	17,685千円	17,685千円	17,685千円																									
	決算額		11,564千円	11,564千円																									
	執行率（%）		65.4%	65.4%																									
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																									

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		用途地域等の見直し										個別事業掲載No	都 — 12			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成27年度に策定した「三鷹市用途地域等の見直し方針」に基づき、見直しの時期を検討しながら対応を進める。下連雀五丁目第二地区（日本無線株式会社三鷹製作所跡地等）については、平成28年度に策定した原案の公告縦覧や説明会等を行い、用途地域等の変更の都市計画決定をする。東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺等の土地利用転換が図られる地域は、引き続き庁内プロジェクト・チームによる多角的視点から検討するとともに、土地利用に関する法改正等の動向を勘案しながら用途地域等の見直しに向けて土地利用の方針を検討する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途地域等の変更内容、土地利用の方針の検討 用途地域等の変更に伴う都市計画手続き 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	事業の成果（目標）	<p>下連雀五丁目第二地区（日本無線株式会社三鷹製作所跡地等）：用途地域等の変更内容の検討、変更に伴う都市計画手続き、条例の制定</p> <p>東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺：土地利用の方針の検討</p> <p>プロジェクト・チーム ○第1回</p>														
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>（実績）・下連雀五丁目第二地区の用途地域等の変更の都市計画決定（8月1日）</p> <p>・東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺等における土地利用の方針の検討</p> <p>（課題）・各事業スケジュールに合わせて検討することが必要</p> <p>・周辺環境への配慮を考慮した用途地域等の変更を検討する必要がある</p>														
	事業評価審査会特記意見	指定解除後の特定生産緑地等の都市計画制度活用の方針については、全庁的に連携した検討を進めること。	政策会議評価・意見等	重点事業とする。												
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする											
事後評価	実績	<p>・下連雀五丁目第二地区は、都市計画変更の手続きを進めた。4月に行った原案説明会での意見を取り入れ、8月に都市計画決定、9月に地区計画の条例改正を行った。</p> <p>・東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺等は、11月のプロジェクトチーム等で検討を行った。</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	事業の成果（実績）	<p>下連雀五丁目第二地区（日本無線株式会社三鷹製作所跡地等）の用途地域等の変更</p> <p>東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺等における土地利用の方針の検討</p>														
	事業の総括（主管課）	<p>下連雀五丁目第二地区は「日本無線株式会社と三鷹市とのまちづくりに関する協力協定」に基づき、土地利用転換にあわせて用途地域、高度地区、特別用途地区及び地区計画の都市計画変更を行った。東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺等の土地利用転換が図られる地域は、北野の里（仮称）まちづくりワークショップ等における意見の整理を行い、庁内プロジェクトチームにおいて用途地域等の都市計画変更の進め方を確認した。</p>														
事業評価審査会評価・意見等														予算執行	29年度当初	29年度実績
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）												